

第2学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成28年11月30日(水)
5校時 13:40 ~ 14:25
2年1組教室

学級目標 あかるい+たのしい +やさしい+えがお なかまを大せつにし きょう力しあう 2年1くみ
--

2. 議題 「冬の大うんどう会をしよう」

3. 議題について

(1) 児童の実態 33名

明るく素直な児童が多い。前期から引き続けている遊び系の活動では、クラス全員での遊びを多く取り入れていることもあり、休み時間では男女仲良く遊んでいる様子が見られる。4月に決めた学級目標では、1年間で大事にしたいキーワードを出し合い、目標を考えた。クラス全員が一人一人を大切に、何事もみんなでつくり上げていこうとする気持ちが込められている。実際に、友達やクラスのために行動できる児童が多く、あたたかい雰囲気クラスの中で生まれてきている。また、日頃から友達の話や思いを大切に聞くことを全体に指導してきたことで、聞く姿勢についても意識する児童が多く育ってきている。一方で、まだまだ言葉かけが必要な児童がいたり、場面によっては自分優先で行動してしまったりする児童もまだいる。

学級会はこれまでに4回行っている。1回目は「サマーしゅう会をしよう」という議題で行った。1年生での経験が生かされ、一人一人が自分の考えをもって話合いに臨むことができた。学級会の中で意見がうまく言えない児童にも友達同士で声をかけあい、少しでもその児童が発言できる機会をつくれた。ふり返りの際にも「〇〇さんが頑張って意見を言えていたのがすごかったです。」などの意見が出て、お互いに認め合う姿が見られた。2回目は「前きががんばったねしゅう会」を行い、めあてを意識した発言が多く見られた。集会の際はプログラムごとに全員で役割分担をして準備を進めたことで「自分たちでつくりあげた」という意識が生まれ、前回の集会よりも満足感が高まっていた。3回目は「ハロウィンパーティーをしよう」という議題で話し合った。「全員が参加できる」「雰囲気を味わえる」のキーワードをもとに話し合い、折り紙でのお菓子交換と教室を使ってお化け迷路をすることに決定した。司会グループのタイムキーパーを軸に時間を意識した話し合いを進めることができ、集会ではめあてをふり返る発言がよく出ていた。話し合いから集会に至るまであたたかい雰囲気で進めていくことができた。4回目は「向小ほっと☆パラダイス」の出し物についてスローガンをもとに話し合いを進めた。来てくれるお客さんやお店を行う自分たちみんなが楽しめるような内容を考え、4つの出し物を決定することができた。

課題としては、自分から発言することが苦手な児童もおり、発言することのできる児童に限られていることや、自分の思いを一方向的に発言してしまう児童もいるということがあげられる。また、少数意見の児童が取り残されてしまい、気持ちを引きずったまま決定に向かうことがあった。

(2) 議題選定の理由

今回、議題箱に入った意見の中では「運動を通してクラスの仲を深めたい」「クラスだけで運動会をしてみたい」というような「運動会」に関するものが多かったので、議題を「冬の大うんどう会をしよう」とした。体を動かすことが好きな児童が多く、日頃から係活動としてクラス遊びを楽しむことも多いため、「運動会」について話し合うことは、子どもたちの興味・関心を引くものと考えた。また、話合いのめあてを「みんなが笑顔になれる、もり上げのくふうを考えよう」とした。これまで、活動内容が決定した後は、活動ごとに役割を分担しルールや工夫を考えていたため、全体で工夫について話合いをしたことがなかった。今回「盛り上げ方を工夫すること」をめあてにすることで、クラス全体で工夫を考え、今後の集会など、子どもたち同士で話し合う時にも生かしてほしいと考えている。また、活動内容を選ぶのではなく、活動の工夫を話し合うことで、よりクラスの友達のことを思い、みんなで協力することの大切さを実感できると考えた。

今回の話合いでは、事前に競技の内容を決定しておき、本時は盛り上げるための工夫を考えて決める時間としたい。また、これまであまり発言していない子も、自分の思いを伝えられるように「聞きあいタイム」や「お助け」などで支援し、多くの子の思いをクラス全員で受け止めたうえで話合いができるようにしたい。そして、一人一人の思いをくみ取った上での集団決定の大切さを学んでほしいと願っている。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. テーマとのかかわり

(1) 目指す子どもの姿

自分たちで創る 仲間と共に
～よりよい人間関係を築く力の育成を目指して～



- 低学年の目指す子どもの姿
- 自分の考えをもち、適切な言葉で表現できる子
 - 相手の考えをよく聞き、自分にない友達のよさを見つけようとする子
 - みんなで助け合って楽しい学級生活をつくろうとする子

(2) テーマに迫るための手立て

【自分の考えをもち、適切な言葉で表現できる子（自分）】

○司会グループへの指導（事前・本時）

- ・話し合いの流れの確認をして、安心して学級会を進められるようにする。簡単な司会台本を作り、予定時刻も明記し、時間管理もできるようにする。

○学級全体への指導（事前・本時）

- ・議題について、自分の意見をもって話し合いに臨めるよう、話し合いカードに自分の意見を書き、当事者意識をもって話し合いに参加できるようにする。
- ・思いを言語化するための支援として、場面に応じた話型の提示をし、話し合いカードに貼っておく。

○司会にわかるようなハンドサイン（本時）

♫アピール（意見）	□…賛成・つけ足し	□…心配・質問
-----------	-----------	---------

【相手の考えをよく聞き、自分にはない友達のよさを見つけようとする子（相手）】

○生活班での聞き合いを生かす（本時）

発言が苦手な子の意見も生かすため、「アピールタイム」でそれぞれのグループで聞き合いタイムを設け、同じ意見の友達同士でさらに話し合いを深める。全体の場では、意見をもっていてもなかなか手が挙げられない子に声をかけるなどして励まし、発表できるように後押しするとともに、躊躇している場合には「お助け」としてその子の意見を発表できるようにする。

○ふり返りタイム（本時）

話し合いカードに話し合いを終えての自己評価や友達の発表する姿や聞いている姿、頑張っていた姿などを「今日のピカイチさん」として記入する時間を設ける。また発表の際には、「今日のピカイチさん」を紹介しあい、互いを認め合えるようにする。

【みんなで助け合って楽しい学級生活をつくろうとする子（集団）】

○賛成意見と心配意見の視覚化（本時）

※マーク（賛成）か♣マーク（心配）を案の下に貼る。

○司会グループを輪番制で取り組む

輪番制にすることで、司会グループの役割の内容を理解し、司会グループは誰もが担う役割であることを意識し、司会グループに協力することの大切さをみんなが実感できるようにする。

○話し合いのめあての確認（事前・本時）

自分の思いを通すことが目的ではなく、いろいろな意見を聞いた上で、全体にとってよりよい案が選べることを大切であることを確認する。

○準備・実践（事後）

実践の場でも、めあてを意識して活動し、実践によって達成感を得られるようにする。必要な役割を考え、全員が役割をもって準備を行うようにする。準備段階でも、創意工夫をしながら楽しんで活動できるよう支援する。

○実践後のふり返りの活動（事後）

実践を通して感じたことや考えたことを伝え合い、次の活動に生かすことができるようにする。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
11月上旬	・議題箱に「1組だけの運動会がしたい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どのような学級にしていきたいのか考えて意見を入れるよう促していく。 ☆学級活動に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月18日(金) 中休み	・司会グループと提案者、担任で、議題の確認をする。	○みんなで話し合いながら議題を選べるようにする。 ☆寄せられた議題の中からよりよい議題を選ぼうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月21日(月) 中休み	・司会グループと提案者と担任で話し合いのめあてや役割分担の計画を立てる。 進行司会1 指名司会1 黒板記録2 ノート記録1 タイムキーパー1	○日時や場所など決まっている事を伝える。 ○今回の話し合いで大切にしたいことを考えるよう伝える。 ○それぞれの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆話し合いに向けて進んで準備をしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) ☆教師とともに話し合いの進め方、話し合いのめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月22日(火) 朝の時間	・議題、提案理由、話し合いのめあて、話し合いの柱を伝える。	○話し合いの柱を確認することで、学級会に主体的に参加できるようにする。 ☆議題に対して関心をもとうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月24日(木) 朝の時間	・自分の考えを「話し合いカード」に書く。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるようにする。 ☆提案理由やめあてを大切に自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月29日(火) 中休み	・司会グループと担任で話し合いカードを整理し、話し合いの流れを確認する。	○司会台本を作りながら、話し合いの流れを確認する。 ☆教師とともに話し合いの進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

①ねらい

- ・みんなが笑顔になれる、盛り上げの工夫について進んで考え、決める。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「冬の大うんどう会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認</p> <p>5. めあての確認 「みんなが笑顔になれる、もり上げの工夫を考えよう」</p> <p>6. 決まっていることの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 12月14日(水) 4時間目 ・場所 校庭(雨天延期12月16日/金) ・競技種目 リレー・ダンス 雪ゴロゴロ競争 <p>7. 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出し合いタイム ・アピールタイム(グループ→全体) ・まとめタイム <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. ふり返りタイム 今日のピカイチさんの発表</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. おわりの言葉</p>	<p>○安心して会が進められるように、進行内容を事前に確認し、司会台本を用意する。</p> <p>☆司会グループとして自分の役割を果たそうとしている。(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○話し合いのめあてを意識しながら話し合ったり、決定したりできる様にめあてを掲示しておく。</p> <p>○時間経過を意識して、話し合いが進められるようにする。</p> <p>○司会が話し合いの進め方でつまずいたり、話し合いが滞ったり横道にそれたりしたときには、子どもたちに問いかけたり、助言したりする。</p> <p>○班での話し合いから全体への話し合いに移るときなど、司会グループの合図だけで気持ちが切り替わらない児童がいれば言葉かけをする。</p> <p>☆話し合いのめあてを達成できるような工夫を考えている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆友達の思いを受け取りながら、自分の意見を言ったり聞いたりしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○めあてを達成しようとするための意見、話し合いの中での聞き方や反応の仕方、司会グループの頑張りなどを中心に褒める。</p> <p>○実践に向けた活動を意識できるようなふり返りになるように声をかける。</p>

③本時の視点

- ・話し合いのめあてを意識した発言ができたか。
- ・多くの子の意見を受け止めた話し合いができていたか。

④板書計画

話し合い	冬の大うんどう会 プログラム	一、会長のあいさつ	二、じゅんび 体そう	三、リレー	四、ポツキードダンス かけ声を出す	五、雪ゴロゴロ きようそう はたを持っておうえん	六、ひようしよウ式 さんかしよウをあげる	あい手のがんばったところを言う
			音がくをながす	おどりをする	はちまきをまく	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇
			〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇

←

・ホワイトボード

第五回 一組会ぎ

ぎだい

ふゆの大うんどう会をしよう

ていあんりゆう

- ・みんなときよう力してたのしみたいから
- ・一組のなかをもつとふかめたいから
- ・一組だけでうんどう会をしてみたいから

話し合いのめあて

「みんながえ顔になれる、もり上げのくふうを考えよう」

きまつていること

十二月十四日（水）

四時間目 校庭

雨の時 十六日（金）

きようぎのルール

- ・リレー
 - 一人一しゆう または 半しゆう
 - 四色バトン 四チームに分かれる
- ・ポツキードダンス
- リズムよく大きい動きで踊る
- ・雪ごろごろきようそウ
 - 大玉をころがして、雪だるまを作る
 - 二チームずつ行い、タイムで競う

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
12月5日(月) 帰りの会	・一人一人が活躍できる場を考えた役割を決め、分担する。	○必要な役割を考えて、全員で分担できるようにする。 ☆学級の一員として自己の役割を自覚し、実践する。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
12月6日(水) ～ 12月13日(火) 中休み	・役割を分担し、集会に向けて準備を行う。	○決まったことを教室に掲示し、全員が関わりながら計画的に取り組めるようにする。 ☆活動に向け、進んで準備をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
12月14日(水) 4時間目 学級活動 雨天延期 12月16日(金) 1時間目	・集会活動を行う。	○集会のめあてを掲示し、意識して活動できるようにする。 ○活動の中で笑顔になっていたり、頑張ったりしている児童を認め、賞賛する。 ☆めあてを意識し、友達と協力して活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
12月14日(水) 帰りの会	・活動のふり返しをする。	○集会を通して、めあてが達成できたかどうか考えるよう声をかける。 ☆活動を振り返り、自分の思いや意見を発表している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

〈資料1〉 話型の提示

話し方のれいを見て、かっこよく発言しよう！

	場面	話し方
出し合いタイム	・い見をはっぴょうするとき	・わたしは、〇〇がいいです。どうしてかという、～だからです。
	・さんせい見	・わたしは、〇〇が☆☆というめあてにいちばん合っていると思います。どうしてかという、～だからです。 ・わたしは、□□もいいと思いますが、〇〇のほうが良いと思います。どうしてかという、～だからです。 ・☆☆というめあてに合っているのは、□□より〇〇だと思います。どうしてかという、□□には、～ところがあるけれど、〇〇には～ところがあるからです。
アピールタイム	・心ばいい見	・わたしは、〇〇が心ばいです。どうしてかという、～だからです。 (し会：Bさんの心ばいをかいけつするい見はありませんか。)
	・心ばいをかいけつするい見	・Bさんの心ばいい見について、わたしは、□□をすれば、いいと思います。 (し会：Bさん、どうですか。)
	・い見が変わったとき	・わたしは、□□がいいと思っていましたが、Cさんのい見を聞いて、〇〇もいいなと思いました。どうしてかという、～だからです。
	・友だちのかわりにい見を言うとき *おたすけマイク	・Aさんのおたすけをします。聞き合いタイムで、Aさんは、〇〇がよいと言っていました。どうしてかという、～だからだそうです。 Aさん、どうですか？ (←Aさん：「はい」「そうです」「ありがとう」)
	・友だちがじぶんでい見を言えるようにするとき	(小さい声で) ・Aさんなら大じょうぶだよ。がんばって。 ・さっき話してくれたことまだだれも話してないから、言った方がいいよ。



〈資料2〉学級会カード

だい () 回 () くみ 会ぎ

話し合いカード

名前()

ぎだい (話し合うこと)

めあて

自分の考え

そのわけ



～ふりかえり～

① 自分のいけんを 言うことができた。	☆	☆	☆
② 友だちのいけんを 聞くことができた。	☆	☆	☆
③ 友だちのいけんでいいところを見つけることができた。	☆	☆	☆
④ めあてをいしきしたいけんを 言うことができた。	☆	☆	☆
⑤ 話し合いが たのしかった。	☆	☆	☆

友だちのいけんで なるほど!と思ったこと

友だちの名前()

そのわけ

★今日のピカイチ★

名前: _____ さん!

